



「読書週間(10/27~11/9)」の取組  
 学校名(生駒市立生駒南中学校)



実施日 及び 実施期間	令和7年10月1日~11月11日
実施内容	<p>タイトル「みんなのおすすめの1冊」</p> <p>①10/21~11/11                  「第4回 お気に入りの1冊をあなたへ 読書推薦文コンクール2024 入賞作品集展示」                  公益財団法人博報堂教育財団で紹介された本を推薦文とともに展示。</p> <p>②10/1~11/11                  「図書委員が選ぶおすすめの本」 図書委員が選んだおすすめの本を窓際に展示。</p> <p>③10/1~10/31                  「ゴーストミッケ!」小さなゴースト6匹を本の中に隠し、暗号や、なぞなぞクイズから分類番号や著者名を当てて、その本を探す。                  「ハロウィン重さ当てクイズ」ハロウィン仕様の壘の重さを手で持っただけで当てるクイズ。正解に一番近い人4人に、しおりなどをプレゼント。</p> <p>④10/1~11/11                  「ヨイヨワネ」ヨシタケシンスケの著書「ヨイヨワネ あおむけ編、うつぶせ編」から、気に入ったことばを図書館に来た人に選んでもらい、毎日ひとつ、その言葉を標語のように、ホワイトボードに書いて、見て楽しんでもらう。</p> <p>⑤11/4~                  「小中高生が選んだ本ランキング」読売新聞10月28日の記事より、男女別、小中高生が選んだ本ランキング上位10位をホワイトボードで発表。選ばれた本も展示。</p>
児童生徒の様子	<p>①推薦文を読みながら借りる本を決めてくれていた。②図書委員がそれぞれの一番のお気に入りの本を選んでくれたので、興味を持ってもらえたと思う。③毎年恒例のイベントだが、今年もたくさんの生徒が参加し、ゴーストミッケは、司書が本の探し方をレクチャーしながら探してもらったので遊びの中で覚えてもらえたらいい。④励ましたり鼓舞したりする言葉とかではなく、ゆるい弱音を提示したので、気持ちが楽になってもらえたと思う。来た生徒がホワイトボードに絵を描くなど楽しんでいた。⑤ランキングは興味深く見ていた。「この本読んだ」とか「これ、上位なんだあ」とか話題になっていた。</p>
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	特に1年生の読書熱が高いので、今後も図書館に呼び込むイベントを色々考えたいと思う。学年によって、図書館に来る頻度も違うが、気楽に立ち寄れる場所には、なっているようだ。
備考	

# 「読書週間(10/27~11/9)」の取組

学校名(生駒市立生駒北小中学校)



「読書週間(10/27~11/9)」の取組  
 学校名(生駒市立緑ヶ丘中学校)



実施日 及び 実施期間	令和7年 10月 22日~11月 9日
実施内容	<p>タイトル「とにかく癒やされたいあなたへ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こころとあたまの深呼吸。」という今年のテーマにあわせて、行事が忙しい2学期少しでも図書館で疲れを癒やしてもらえればと考え、読んでほっこり癒やされるような本を集めて展示しました。</li> <li>読みやすい絵本や、手に取りやすい表紙の哲学書、動物の本などを展示。</li> <li>・読書週間のポスターを作成して昇降口や図書館の入り口にあるボードに掲示しました。</li> <li>・図書館だより10月号で読書週間について告知しました。</li> <li>・読書週間期間中、ハロウィンイベントも行い、図書館内の飾りつけやハロウィン関連本を展示し、本を借りた生徒にしおりを配布。</li> </ul>
児童生徒の様子	<p>癒やし本の特集展示では、興味を持って借りる生徒や毎日お気に入りになった絵本を館内で読むなど、様々な楽しみ方で本に親しむ姿が見られました。</p> <p>期間中に行ったハロウィンイベントでは館内の飾りつけやしおりの配布などで、楽しんでもらえたと思います。館内の飾りは地域のボランティアの方たちに協力していただき季節ごとに作成しています。そんなあたたかい雰囲気の図書館でくつろぐ姿も見られました。</p>
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	<p>2学期は行事が目白押しだったので、貸出数はそんなに伸びませんでした。昼休みなど生徒の来館数は昨年以上に多かったです。図書館が憩いの場として存在していると実感しました。その反面少し騒がしい場面も多かったため、本を読む場と憩いの場として共存できる方法を工夫していかなければならないと思いました。また癒やし本に興味を持ち、借りに来てくれる先生もおられました。</p>

# 「読書週間(10/27~11/9)」の取組

学校名( 生駒市立鹿ノ台中学校 )



# 「読書週間(10/27~11/9)」の取組

## 学校名(生駒市立上中学校)



<p>実施日 及び 実施期間</p>	<p>令和7年 10月 27日~11月 13日</p>
<p>実施内容</p>	<p>①3年生三者懇談中の家族貸し出し          ②別置[小中高生が読んだ本ランキング]読売新聞 10/28掲載          ③『読書尚友』図書館サポーターさんからの言葉          ④ビブリオバトルに向けた本探し</p> <p>①11/7(金)~13(木)の三者懇談の日時に合わせて、家族貸し出しを実施しました。普段貸出できる本は2冊だが、期間中は生徒5冊、家族の方5冊の計10冊が借りられるようにしました。</p> <p>②読売新聞に掲載されていた学校図書調査によるランキングを参考にして小中高生が読んだ本を別置しました。また、実施されたアンケート調査による結果も一緒に掲示しました。</p> <p>③月に一度、図書に関する装備や修理、書架整理などをして下さるボランティアの方々、中学生に向けて『読書尚友』という言葉を増って下さり、その言葉に合わせた本を集めて別置しました。</p> <p>④主に1年生が国語の授業で、ビブリオバトルについて学び、発表する本を探しに昼休みや業間の休み時間を利用して、図書館の本を探しに来ていました。</p>
<p>児童生徒の様子</p>	<p>①お母さんが借りてきてほしいと頼まれたと言って、本を借りに来る生徒や、月に一度配布している図書館だよりを片手に、新刊の本を探している生徒などが見られました。③別置した本を手にしてくれる生徒が、直接ボランティアの方々とは会うことはないけれど、本を通して、地域の方々の思いや、昔の人の言葉が生徒のみなさんに少しでも届いていたらいなと思います。</p>
<p>取組後の変容 (子ども・家庭・教師)</p>	<p>④絵本を借りていた生徒が、やはり絵本では5分間の発表に話す内容がないと選びなおしに来たり、色んな分類の本を探して借りて行ったりと苦戦している様子が見られました。経験することで、学ぶことがたくさんあることを、実感してくれたら嬉しいです。</p>
<p>備考</p>	

# 「読書週間(10/27~11/9)」の取組

学校名( 生駒市立光明中学校 )



# 「読書週間(10/27~11/9)」の取組

## 学校名(生駒市立大瀬中学校)

